

トラウマを メンタライジングする

Trauma Informed Mentalizing

MBTから見たトラウマとその介入

— なぜトラウマは語られる必要があるのか? —

定員
20名
限定

第8回国際MBT学会（Paris）報告会

特別講演

Karin Ensink, PhD

カナダ・Laval大学教授

MBT-C開発者。

児童・思春期MBT (MBT-C・MBT-A)の
Anna Freud Centre認定スーパーバイザー
ならびにトレーナー。

欧州・北米圏にとどまらず、日本や中国を
はじめとするアジア圏でのMBT指導にも
従事している。

日本へのグループスーパービジョン提供は
今年で7年目を迎える。

セミナー概要

今年5月、パリで開催された第8回国際MBT学会での発表内容を、
日本にて逐語通訳を通してご報告いただきます。

本研修では、「トラウマをメンタライジングする」とは具体的に
何を意味するのか、またそれがどのように評価されるのか
(評価尺度)についてご紹介いただくとともに、それらが実際の
臨床においてどのように活用され得るのか、特に思春期臨床に
焦点をあてて詳しく議論いただきます。

講師には、MBTおよびトラウマ臨床の専門家であり、子どもの
MBT (MBT-C) 開発者の一人であるKarin Ensink氏をお迎えします。

最新の研究知見と臨床実践をご報告いただいた上で、日本国内に
おいてさまざまな現場や理論的背景からトラウマ臨床に取り組まれて
いる皆さまと、活発なディスカッションの機会としたいと考えております。

さらに当日は、以下のテーマについてもダイジェスト版を共有予定です。

当日共有予定

■ 日本の臨床家が体験する
Epistemic Trust構築過程
(発表者: ガヴィニオ重利子)

■ Epistemic Trust評価尺度
日本語版
(発表者: 坂田浩之)

開催概要

2026年 6月27日 (土)

受付開始 13:30

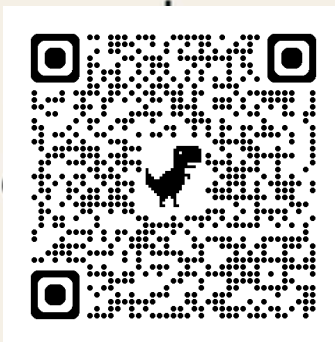
研修会 14:00 - 17:30

キャンパスプラザ京都
京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

参加費
5,000円
(逐語通訳付き)

お申し込み

お申し込みはこちら



<https://forms.gle/zLZmA9CeWVaJA2wB7>

申込締切

2026年 6月14日 (日)

※定員20名に達し次第受付終了

主催 MBT-CYP京都事務局

お問い合わせ

mbtc.workshop@gmail.com